

令和2年度 社会福祉法人 歩育の会 保育所の自己評価表 歩育の会

良く出来ている◎(80%以上) ほぼ出来ている○(60%~80%) 努力が必要△(30%~60%) ほとんど出来ていない×(30%以下)			
	項目	評価	努力が必要な理由または出来ていない理由 (書ききれない場合は裏面へ)
運営管理	1 保育理念・保育方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	◎	
	2 定期的な職員会議等を通じて職員の資質向上、業務効率化や改善に努めている	◎	
	3 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確され、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	◎	
守秘義務	1 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	◎	
	2 園内で知りえた事柄について守秘義務を徹底している	◎	
安全・危機管理	1 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	◎	
	2 外部からの侵入者に対し対応策がなされ、訓練が行われている	◎	
	3 緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	◎	
	4 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的を実施している	◎	
保育環境	1 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	◎	
	2 室内の湿度・温度・換気・照明等は園児の活動に合わせて配慮している	◎	
	3 季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じられるような配慮を行っている	◎	
	4 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	◎	
健康管理・衛生	1 園児の健康診断は定期的を実施され、その結果は職員や保護者に伝達されている	◎	
	2 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心掛けている	◎	
	3 玩具・遊具等については、常に衛生的に保持している	◎	
	4 SIDS(乳児突然死症候群)や感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている	◎	
保育内容	1 全ての園児について、ひとりひとりの最善の利益とその人権を尊重している	◎	
	2 園児にわかりやすい暖かな言葉遣いで穏やかに話をしている	○	
	3 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応をしている	◎	
	4 園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	○	
	5 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	◎	
	6 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている	◎	
食育	1 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	◎	
	2 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに食事ができる環境がある	○	
	3 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	◎	
	4 食物アレルギーのある園児は栄養士と職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している	◎	
子育て・地域支	1 園児の登降園時に園児の様子を保護者に伝えている。また聞いている	◎	
	2 虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	◎	
	3 実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	◎	
コロナ対策	1 国、行政または園からの通知・情報を職員や保護者へ伝達されている	◎	
	2 消毒・手洗い・検温など感染防止対策の環境を整え、関係者全員へ周知し、もれなく実施している	◎	
	3 主活動・食事・午睡などで密を避ける新しい生活様式の保育環境を心掛け、園児への指導も行っている	◎	
	4 園全体を考慮し、特に人が触れる物・場所の消毒を定期的・徹底的に行っている	◎	
	5 行事・イベント等を行うための感染防止対策を職員で話し合い、保護者へ周知し、しっかりと対策して行っている	◎	

総評・その他

--

保育環境

- 1 時折、ロッカーに私物を片付け忘れてしまっている職員がいる
- 2 おひさま広場になどに草花などを植えていきたい

健康管理・衛生

- 3 毎日消毒を行い、感染に努めている

保育内容

- 2 時々、感情的になりやすい

子育て支援・地域支援

- 1 コロナ感染防止の為、廊下対応にて、控えての対応となった
現在コロナ対応の為、常にではないが直接伝えなくてはいけないことは伝えている

コロナ対策

- 2 多くの保護者は実施して下さっているが、手洗いなど行っていない方も見られる

総評・その他

- ・今年度はコロナ対策という初めての事が多くあったが、色々な対策、対応がその都度柔軟に適切に行われていたと思う。様々な状況に合わせて保育の内容・環境設定、又行事など職員一人ひとりが意識して工夫、配慮する事ができていたと思う。
- ・保育理念、保育方針に則って、保育に努めている。ワンフロアで限られたスペースであったり、縦割り保育で過ごす時間が多いことにより、玩具や遊具の質・量や落ち着いた環境を整える上では難しい面もあるが、職員の工夫、努力により向上していると感じる。保育士の言葉遣い、話し方のついては、日頃より注意を払い、気をつけているが、引き続き最善となるように努めていきたい。
- ・今年度はコロナ感染症に伴い、生活習慣、行事、体調管理など色々な事に対応し、判断しなければいけない一年でした。子どもたちにとって何が一番良いのかを今後も考え、判断し、取り入れて行けたらと思います。
- ・今年度は新型コロナウイルスの影響により、行事の短縮や自粛してもらった部分は保護者や子どもにもあったが、各職員が普段とは変わらない接しかたや制限はあるが行事へと取り組みをおこなった事で保護者の反応は悪くもなく、クレームもなく園側としては大変な部分はたくさんあったが、結果的には良かったと思う。
- ・今期は1に消毒、2に消毒、3に消毒で過ごした。保育の性質上、3密を避けることは困難です。感染防止対策を徹底しつつ行事も縮小し行い、保護者、子どもたちにも不自由と不便を与えてしまった。
- ・今年度はコロナ禍での特別な一年でした。日々の保育の中での子どもたちの体調に配慮し、保育を実施することができたこと。また、行事の縮小、中止など保護者の方々のご理解、ご協力があったこと。その中で子どもたちの成長、自信へとつなげることができたこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

*評価の推移

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度
・ 運営管理	3 ◎	⇒	○	⇒	◎
・ 保育環境	3 ◎	⇒	○	⇒	◎
・ 保育環境	4 ○	⇒	◎	⇒	◎
・ 保育内容	2 ○	⇒	○	⇒	○
・ 保育内容	4 ○	⇒	○	⇒	○
・ 食育	2 ◎	⇒	○	⇒	○

令和元年度の振り返り

平成 30 年度○か 3 か所あり、環境整備、玩具整備、マナー向上を重点目標としてきましたが、保育内容 2・4 の大きな改善には至らなかったとリーダー会議では今年度の評価となりました。

それに増して、他に 3 か所◎から○へ評価が下がった項目もあり来年度の課題として取り組みたいと思います。保護者からのアンケートも合わせて、職員で話し合っていきたいと思います。

令和 2 年度の振り返り

令和元年度より運営管理 3、保育環境 3 で◎となり、向上が見られた。

保育内容 2・4、食育 2 が、課題である。来年度に向けて抜本的な改革が必要である。

各園で取り組む方法を話し合っ重点目標に取り組みこととします。職員全体に周知して意識改革するよう心掛け、来年度は少しでも向上いたします。